

[鈴木みきお] 平成25年1月5日

県政報告

新年号

皆様の声に自信を持って提言しその実現のため邁進して参ります。



命を救え！
ドクターヘリ運用開始



私は、昨秋議会内の同志十四名と共に新党派「創明会」を結成し、新たな議員活動を進めてまいりました。

経済不況に加えて一昨年の東日本大震災の復興も思うように進まず、閉塞感が漂う中、山梨県にも多くの課題が山積しております。

このような環境の中にあっても本県では中部横断自動車道、リニア新幹線など未来に向けての大きなプロジェクトが進んでいます。これらをいかにして山梨の未来につなげていくかも大きな課題です。

新しい年に向け山積する課題解決と県民生活の安定、地域の活性化が進むよう更に活動を進めて参ります。皆様の声を自信を持って議会へ提言しその実現のため邁進して参ります。

昨年笹子トンネル天井版落下事故でお亡くなりなられた皆様のご冥福をお祈りすると共に再び痛ましい事故の起こらぬような対策の対応をすすめております。

中央自動車道上り線 笹子トンネル天井版落下事故に 関連して国・県の動きと提言



トンネル内の重量構造物の点検状況

12月7日に国土交通省からトンネル内の道路付属物等の一斉点検について示されたことから、県管理トンネルのジェットファン、トンネル情報板等の重量構造物について、点検を実施した。(県管理のトンネルは130本)

■期間…12月11日(火)～25日(火)

※今年度、既に点検済みの次のトンネルはその結果を記載している。

- ・雁坂トンネル12月4日(ジェットファン)
- ・七里岩トンネル11月19,20日(ジェットファン)

■点検体制…県職員及び専門業者

■点検内容…アンカーボルト・ナット、継手等の部位を中心に、近接目視及び打音、触診等により道路付属物等の損傷や以上の有無を確認。

トンネル内の重量構造物の点検結果について

【県の報告】

12月7日に国土交通省から県が管理するトンネル内の重量構造物(ジェットファン、トンネル情報板など)を有するトンネルについて、点検調査が指示されました。

このため、12月11日～25日にかけて調査を実施し、本日、その結果を取りまとめて、別添のとおり発表することになりました。

調査では、対象である17トンネルのアンカーボルト全1,082本のうち、深城トンネルの情報板のアンカーボルト1本に異常(脱落)が発見されたが、安全性は確保できており、異常のあった箇所については、今後、補修する予定であります。

知事への政策提言(12月26日)

笹子トンネル等の安全対策と道路施設の老朽化対策について

【提言内容】

本年12月、中央自動車道上り線の笹子トンネル内において、天井板が落下し、通行車両が巻き込まれ、死傷者が発生するという痛ましい事故が起きた。

本県には笹子トンネルと同様な天井板を有するトンネルが新御坂トンネル及び愛宕トンネルがある。両トンネルともに通勤・通学などに多くの県民が利用している。県民も、今回の事故を受け、新御坂トンネル及び愛宕トンネルについて本当に安全なのか危惧している。

そこで、次のとおり緊急に提言する。

- ①今回の事故を受け、県において、両トンネルの点検による補修工事を完了させたと聞いたところであるが、今後も、トンネルの安全確認と、しっかりとされた所要の安全対策に万全を期すこと。
- ②県が管理する道路には、トンネルに限らず、橋りょうなど老朽化した社会資本が相当数存在するが、道路施設の老朽化対策にも早急に取り組むこと。